



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵をつくります

地元の声

・過去に崩れたこともあるため、早く対策して欲しい。(地元住民)

事業前

◆平成29年8月の豪雨により、がけ崩れが発生しました。



事業前の状況

事業後

◆防護柵を設置し、落石や崩落土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ (一例)

事業の概要

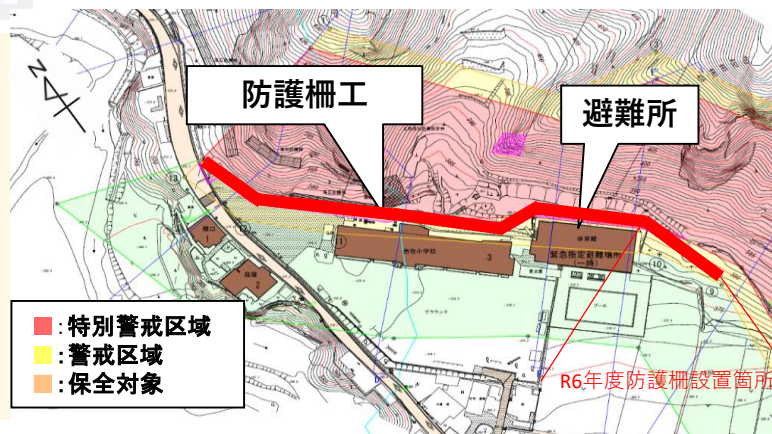
- 事業箇所：下仁田町大字西野牧
- 事業内容：防護柵工 延長200.5m
- 事業期間：令和3年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)

今、何をしているか

令和6年度は防護柵工を行います。



事業のすすみ具合

事業開始 ●



● 事業完了